

J A M  
政策NEWS

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.or.jp](mailto:syakai@jam-union.or.jp)

速報

## 年金改正法案・理不尽な与党のみの強行採決

本日、衆議院厚生労働委員会で、政府提出の年金関連法案が、与党のみで強行採決されました。

審議は午前9時より始まり、民主党は、3閣僚の国民年金保険料未納問題を厳しく追及しました。政府・与党は本日12時に、大臣クラスの、国民年金保険料納付状況の資料を提出する約束をしていました。民主党もネクストキャビネット大臣の同資料を用意して、午後の審議に臨むところでした。ところが、政府・与党は約束を破り、「本日午後6時にならないと資料は出せない」と態度を一変しました。午後の審議には小泉総理も出席しましたが、野党は午後の審議を当初拒否しました。午後2時、ようやく野党議員が委員会室に入り、審議が再開されました。この時委員会室には、他の野党議員が詰めかけ、「国民年金保険料納付状況を明らかにせよ」と書いたプラカードを手にして、資料提出を求めました。

審議時間17時間で・・・

民主党議員は小泉総理に対して「閣僚の国民年金保険料納付状況を提出する約束をしたのに、『6時まで待て』とはどういうことか」と、今すぐ出すよう迫りました。これに対して総理は「理事会で十分協議をしてほしい」と答えたため、野党理事が委員長席に詰め寄り、理事会開催を要求。与党理事はこれにこたえず、しばらく審議が中断しました。その後再び審議が始まり、民主党は坂口厚生労働大臣に対しても、資料提出を強く迫りましたが、大臣は「各大臣にお願いをしている、個人情報なので、個々に記者会見をする。委員会が終了すれば明らかになる」と煙に巻くような答弁をくりかえしました。さらに理事会召集を再度要求しましたが、委員長は与党理事によびかけることをしなかったため、野党全員が退席しました。その後与党より採決の動議が提案され、与党のみで、16時40分、政府提出の年金関連法案は採決されました。政府案の実質審議時間はわずか17時間でした。

### 衆院議員面会所前・連合緊急集会

審議会散会后、連合は緊急集会を開催しました。集会には連合本部、傍聴者、野党議員が出席しました。厚生労働委員会野党筆頭理事の民主党・城島議員は「とにかく国民いじめの法案。悪代官の構造はまったく変わっていない。今回は政府・与党のだまし討ちばかりだった。坂口厚生労働大臣は、閣僚の納付状況を今週月曜日に提出すると約束したが、出さなかった。次は本日の12時までに提出すると言ったがこれも反故にした。委員会で約束したことをなぜ守らないのかと詰問すると、『政府としては約束したが、与党が許さない』と言う。お互い採決の前に出しあうことにしていたが、だまし討ちをした。これから衆議院議長と面会して、採決無効・差し戻しを要求する。」と述べました。

連合・久保田副事務局長は、「このような暴挙は許さない、このままではすまさない」と締めくくりました。また連合は、今夜、強行採決に対する事務局長談話を発表します。